

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛媛県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	今治病院	3
-	南宇和病院	4
-	新居浜病院	5
宇和島市	市立宇和島病院	6
宇和島市	宇和島市立吉田病院	7
宇和島市	宇和島市立津島病院	8
八幡浜市	市立八幡浜総合病院	9
西条市	西条市立周桑病院	10
大洲市	大洲病院	11
西予市	市立西予市民病院	12
西予市	市立野村病院	13
久万高原町	国保病院	14
鬼北町	北宇和病院	15
愛南町	愛南町国保一本松病院	16

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	824	62.1	72.3	73.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	3	27.9	5.4	-
計	827	62.0	72.1	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.9	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	713,683,278	
標準財政規模(千円)	355,960,730	
財政力指数	0.44767	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	143.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,944,023			
1 経常収益	30,944,023			
(1) 医業収益	26,296,140			
入院収益	17,408,629			
外来収益	7,582,966			
診療収入計	24,991,595			
その他医業収益	1,304,545			
(うち他会計負担金)	786,942			
(2) 医業外収益	4,647,883			
(うち国・都道府県補助金)	1,743,086			
(うち他会計補助・負担金)	1,559,070			
(うち長期前受金戻入)	1,054,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	30,520,344			
2 経常費用	30,520,344			
(1) 医業費用	28,780,358			
職員給与費	13,519,262	51.4	62.1	55.8
材料費	8,562,555	32.6	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,218,385	16.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,344,170	16.5	11.4	13.0
減価償却費	2,205,601	8.4	9.5	8.7
経費	4,276,264	16.3	22.7	19.7
(うち委託料)	2,747,427	10.4	12.6	12.6
研究研修費	80,780			
資産減耗費	135,896			
(2) 医業外費用	1,739,986			
(うち支払利息)	363,049	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	423,679			
純損益	423,679			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.4		101.9	102.5
医業収支比率	91.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	93.7		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,810,161
1 固定資産	47,079,258
(1) 有形固定資産	44,284,281
(2) 無形固定資産	12,593
(3) 投資その他の資産	2,782,384
2 流動資産	11,730,903
(1) 現金及び預金	3,865,733
(2) 未収金及び未収収益	7,593,549
(3) 貸倒引当金( )	193,359
(4) 貯蔵品	463,979
3 繰延資産	-
負債合計	71,764,133
1 固定負債	53,078,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,960,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,673,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,961,138
(7) リース債務	3,860,834
2 流動負債	11,943,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,095,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,434,674
(6) リース債務	1,187,766
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,975,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,741,807
(1) 長期前受金	22,841,060
(2) 長期前受金収益化累計額( )	16,099,253
資本合計	-12,953,972
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,002,016
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,321,663
負債・資本合計	58,810,161
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	12,953,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,212,165

備考：  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収益(千円)	25,509,198

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,346,012	2,346,012
資本勘定繰入	977,218	977,218
計	3,323,230	3,323,230

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名	今治病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,999 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	270	55.5	67.4	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	46.8	56.8	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.9	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	713,683,278	
標準財政規模(千円)	355,960,730	
財政力指数	0.44767	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	143.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.3
修正医業収益(千円)	4,545,986

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,351,437			
1 経常収益	5,351,437			
(1) 医業収益	4,547,572			
入院収益	3,189,965			
外来収益	1,247,262			
診療収入計	4,437,227			
その他医業収益	110,345			
(うち他会計負担金)	1,586			
(2) 医業外収益	803,865			
(うち国・都道府県補助金)	150,600			
(うち他会計補助・負担金)	371,935			
(うち長期前受金戻入)	160,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,946,932			
2 経常費用	5,946,932			
(1) 医業費用	5,732,520			
職員給与費	3,362,931	74.0	62.1	63.5
材料費	1,034,362	22.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	399,100	8.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	634,510	14.0	11.4	11.8
減価償却費	378,903	8.3	9.5	10.0
経費	937,482	20.6	22.7	21.7
(うち委託料)	407,397	9.0	12.6	12.2
研究研修費	13,327			
資産減耗費	5,515			
(2) 医業外費用	214,412			
(うち支払利息)	11,614	0.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-595,495			
純損益	-595,495			
累積欠損金	9,164,222			
経常収支比率	90.0		101.9	101.7
医業収支比率	79.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	83.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,810,161
1 固定資産	47,079,258
(1) 有形固定資産	44,284,281
(2) 無形固定資産	12,593
(3) 投資その他の資産	2,782,384
2 流動資産	11,730,903
(1) 現金及び預金	3,865,733
(2) 未収金及び未収収益	7,593,549
(3) 貸倒引当金( )	193,359
(4) 貯蔵品	463,979
3 繰延資産	-
負債合計	71,764,133
1 固定負債	53,078,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,960,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,673,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,961,138
(7) リース債務	3,860,834
2 流動負債	11,943,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,095,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,434,674
(6) リース債務	1,187,766
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,975,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,741,807
(1) 長期前受金	22,841,060
(2) 長期前受金収益化累計額( )	16,099,253
資本合計	-12,953,972
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,002,016
(1) 資本金剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,321,663
負債・資本合計	58,810,161
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	12,953,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,212,165
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	373,521	373,521
資本勘定繰入	100,842	998,345
計	474,363	1,371,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名	南宇和病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,000 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	42.0	50.6	52.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	42.0	50.6	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	13.7	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	713,683,278	
標準財政規模(千円)	355,960,730	
財政力指数	0.44767	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	143.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.8
修正医業収益(千円)	1,990,809

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,912,798			
1 経常収益	2,912,798			
(1) 医業収益	1,990,809			
入院収益	1,109,496			
外来収益	830,408			
診療収入計	1,939,904			
その他医業収益	50,905			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	921,989			
(うち国・都道府県補助金)	612,069			
(うち他会計補助・負担金)	167,539			
(うち長期前受金戻入)	81,727			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,934,867			
2 経常費用	2,934,867			
(1) 医業費用	2,812,565			
職員給与費	1,710,739	85.9	62.1	67.4
材料費	314,792	15.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	115,614	5.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	198,848	10.0	11.4	8.8
減価償却費	206,108	10.4	9.5	10.7
経費	573,376	28.8	22.7	29.2
(うち委託料)	264,405	13.3	12.6	13.9
研究研修費	4,983			
資産減耗費	2,567			
(2) 医業外費用	122,302			
(うち支払利息)	32,143	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-22,069			
純損益	-22,069			
累積欠損金	13,997,189			
経常収支比率	99.2		101.9	100.3
医業収支比率	70.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	93.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,810,161
1 固定資産	47,079,258
(1) 有形固定資産	44,284,281
(2) 無形固定資産	12,593
(3) 投資その他の資産	2,782,384
2 流動資産	11,730,903
(1) 現金及び預金	3,865,733
(2) 未収金及び未収収益	7,593,549
(3) 貸倒引当金( )	193,359
(4) 貯蔵品	463,979
3 繰延資産	-
負債合計	71,764,133
1 固定負債	53,078,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,960,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,673,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,961,138
(7) リース債務	3,860,834
2 流動負債	11,943,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,095,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,434,674
(6) リース債務	1,187,766
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,975,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,741,807
(1) 長期前受金	22,841,060
(2) 長期前受金収益化累計額( )	16,099,253
資本合計	-12,953,972
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,002,016
(1) 資本金剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,321,663
負債・資本合計	58,810,161
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	12,953,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,212,165
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,539	167,539
資本勘定繰入	227,427	1,689,602
計	394,966	1,857,141

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名 新居浜病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,328 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	290	41.1	53.8	56.6
療養	-	-	-	-
結核	21	-	0.2	0.1
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	313	38.1	49.8	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.0	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	713,683,278	
標準財政規模(千円)	355,960,730	
財政力指数	0.44767	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	143.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,813,614			
1 経常収益	6,813,614			
(1) 医業収益	4,866,538			
入院収益	2,844,065			
外来収益	1,150,322			
診療収入計	3,994,387			
その他医業収益	872,151			
(うち他会計負担金)	768,053			
(2) 医業外収益	1,947,076			
(うち国・都道府県補助金)	1,355,660			
(うち他会計補助・負担金)	395,481			
(うち長期前受金戻入)	172,854			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,160,298			
2 経常費用	6,160,298			
(1) 医業費用	5,922,753			
職員給与費	3,620,327	74.4	62.1	63.5
材料費	846,134	17.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	319,786	6.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	525,910	10.8	11.4	11.8
減価償却費	471,899	9.7	9.5	10.0
経費	962,374	19.8	22.7	21.7
(うち委託料)	443,050	9.1	12.6	12.2
研究研修費	17,073			
資産減耗費	4,946			
(2) 医業外費用	237,545			
(うち支払利息)	10,737	0.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	653,316			
純損益	653,316			
累積欠損金	5,416,764			
経常収支比率	110.6		101.9	101.7
医業収支比率	82.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	91.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	58,810,161
1 固定資産	47,079,258
(1) 有形固定資産	44,284,281
(2) 無形固定資産	12,593
(3) 投資その他の資産	2,782,384
2 流動資産	11,730,903
(1) 現金及び預金	3,865,733
(2) 未収金及び未収収益	7,593,549
(3) 貸倒引当金( )	193,359
(4) 貯蔵品	463,979
3 繰延資産	-
負債合計	71,764,133
1 固定負債	53,078,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,960,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,673,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,961,138
(7) リース債務	3,860,834
2 流動負債	11,943,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,095,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,434,674
(6) リース債務	1,187,766
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,975,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,741,807
(1) 長期前受金	22,841,060
(2) 長期前受金収益化累計額( )	16,099,253
資本合計	-12,953,972
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,002,016
(1) 資本金剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,321,663
負債・資本合計	58,810,161
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	12,953,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,212,165
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	4,098,485

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,163,534	1,163,534
資本勘定繰入	121,034	791,671
計	1,284,568	1,955,205

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	市立宇和島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	34,197 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	426	81.8	93.3	96.0
療養	-	-	-	-
結核	5	0.7	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	20.2	0.1	-
計	435	80.3	91.4	94.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.8	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	54,011,303	
標準財政規模(千円)	25,736,596	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.2
修正医業収益(千円)	11,598,785

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,765,321			
1 経常収益	13,730,149			
(1) 医業収益	11,882,732			
入院収益	7,483,455			
外来収益	3,816,533			
診療収入計	11,299,988			
その他医業収益	582,744			
(うち他会計負担金)	283,947			
(2) 医業外収益	1,847,417			
(うち国・都道府県補助金)	1,072,898			
(うち他会計補助・負担金)	403,677			
(うち長期前受金戻入)	245,821			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,172			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,172,544			
2 経常費用	13,089,223			
(1) 医業費用	12,310,715			
職員給与費	5,910,927	49.7	62.1	59.8
材料費	3,507,876	29.5	25.3	27.7
(うち薬品費)	2,044,875	17.2	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,379,706	11.6	11.4	12.4
減価償却費	1,228,685	10.3	9.5	8.2
経費	1,615,041	13.6	22.7	19.2
(うち委託料)	840,613	7.1	12.6	10.2
研究研修費	33,257			
資産減耗費	14,929			
(2) 医業外費用	778,508			
(うち支払利息)	206,346	1.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	83,321			
損益				
経常損益	640,926			
純損益	592,777			
累積欠損金	1,977,142			
経常収支比率	104.9		101.9	103.7
医業収支比率	96.5		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	99.6		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,506,766
1 固定資産	15,336,699
(1) 有形固定資産	14,366,967
(2) 無形固定資産	7,204
(3) 投資その他の資産	962,528
2 流動資産	11,170,067
(1) 現金及び預金	8,342,282
(2) 未収金及び未収収益	2,770,425
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	184,705
3 繰延資産	-
負債合計	19,461,645
1 固定負債	15,100,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,871,906
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,822,671
(7) リース債務	405,867
2 流動負債	3,482,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,100,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	826,012
(6) リース債務	148,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,398,118
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	878,786
(1) 長期前受金	3,922,280
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,043,494
資本合計	7,045,121
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,563,483
(1) 資本金剰余金	50,694
(2) 利益剰余金	-5,614,177
負債・資本合計	26,506,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	672,692	687,624
資本勘定繰入	229,277	229,277
計	901,969	916,901

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	宇和島市立吉田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,866 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	51.1	37.0	34.9
療養	48	56.5	73.9	73.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	53.7	49.9	47.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.3	21.6

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	54,011,303	
標準財政規模(千円)	25,736,596	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.7
修正医業収益(千円)	634,772

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	927,834			
1 経常収益	927,794			
(1) 医業収益	671,066			
入院収益	441,200			
外来収益	172,212			
診療収入計	613,412			
その他医業収益	57,654			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	256,728			
(うち国・都道府県補助金)	85,590			
(うち他会計補助・負担金)	135,221			
(うち長期前受金戻入)	29,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	836,776			
2 経常費用	835,191			
(1) 医業費用	806,693			
職員給与費	515,306	76.8	62.1	67.4
材料費	66,772	10.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	27,669	4.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,150	4.0	11.4	8.8
減価償却費	68,209	10.2	9.5	10.7
経費	154,474	23.0	22.7	29.2
(うち委託料)	60,211	9.0	12.6	13.9
研究研修費	492			
資産減耗費	1,440			
(2) 医業外費用	28,498			
(うち支払利息)	8,971	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,585			
損益				
経常損益	92,603			
純損益	91,058			
累積欠損金	2,454,571			
経常収支比率	111.1		101.9	100.3
医業収支比率	83.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,506,766
1 固定資産	15,336,699
(1) 有形固定資産	14,366,967
(2) 無形固定資産	7,204
(3) 投資その他の資産	962,528
2 流動資産	11,170,067
(1) 現金及び預金	8,342,282
(2) 未収金及び未収収益	2,770,425
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	184,705
3 繰延資産	-
負債合計	19,461,645
1 固定負債	15,100,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,871,906
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,822,671
(7) リース債務	405,867
2 流動負債	3,482,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,100,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	826,012
(6) リース債務	148,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,398,118
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	878,786
(1) 長期前受金	3,922,280
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,043,494
資本合計	7,045,121
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,563,483
(1) 資本金剰余金	50,694
(2) 利益剰余金	-5,614,177
負債・資本合計	26,506,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,091	171,515
資本勘定繰入	14,802	14,802
計	185,893	186,317

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	宇和島市				
病院名	宇和島市立津島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,395 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	73.4	79.0	56.5
療養	40	90.8	87.9	85.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	80.4	82.6	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	27.0	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	54,011,303	
標準財政規模(千円)	25,736,596	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.4
修正医業収益(千円)	1,078,886

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,372,692			
1 経常収益	1,371,392			
(1) 医業収益	1,115,180			
入院収益	732,186			
外来収益	318,846			
診療収入計	1,051,032			
その他医業収益	64,148			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	256,212			
(うち国・都道府県補助金)	59,467			
(うち他会計補助・負担金)	156,434			
(うち長期前受金戻入)	25,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,200,018			
2 経常費用	1,196,024			
(1) 医業費用	1,154,984			
職員給与費	687,413	61.6	62.1	67.4
材料費	124,339	11.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	74,726	6.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,256	4.2	11.4	8.8
減価償却費	71,133	6.4	9.5	10.7
経費	270,168	24.2	22.7	29.2
(うち委託料)	149,587	13.4	12.6	13.9
研究研修費	1,383			
資産減耗費	548			
(2) 医業外費用	41,040			
(うち支払利息)	1,873	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	3,994			
損益				
経常損益	175,368			
純損益	172,674			
累積欠損金	1,182,464			
経常収支比率	114.7		101.9	100.3
医業収支比率	96.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	98.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,506,766
1 固定資産	15,336,699
(1) 有形固定資産	14,366,967
(2) 無形固定資産	7,204
(3) 投資その他の資産	962,528
2 流動資産	11,170,067
(1) 現金及び預金	8,342,282
(2) 未収金及び未収収益	2,770,425
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	184,705
3 繰延資産	-
負債合計	19,461,645
1 固定負債	15,100,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,871,906
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,822,671
(7) リース債務	405,867
2 流動負債	3,482,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,100,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	826,012
(6) リース債務	148,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,398,118
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	878,786
(1) 長期前受金	3,922,280
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,043,494
資本合計	7,045,121
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-5,563,483
(1) 資本金剰余金	50,694
(2) 利益剰余金	-5,614,177
負債・資本合計	26,506,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,007	192,728
資本勘定繰入	3,464	3,464
計	195,471	196,192

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	八幡浜市				
病院名	市立八幡浜総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,199 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	254	52.3	58.9	62.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	256	51.9	58.4	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.7	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	31,987	
決算規模(千円)	26,051,618	
標準財政規模(千円)	11,512,286	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	65.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.0
修正医業収益(千円)	3,509,357

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,303,240			
1 経常収益	5,303,240			
(1) 医業収益	3,661,868			
入院収益	2,290,183			
外来収益	1,095,959			
診療収入計	3,386,142			
その他医業収益	275,726			
(うち他会計負担金)	152,511			
(2) 医業外収益	1,641,372			
(うち国・都道府県補助金)	766,720			
(うち他会計補助・負担金)	337,619			
(うち長期前受金戻入)	438,113			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,657,119			
2 経常費用	4,657,119			
(1) 医業費用	4,387,740			
職員給与費	2,425,089	66.2	62.1	66.1
材料費	715,936	19.6	25.3	19.8
(うち薬品費)	316,263	8.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	395,492	10.8	11.4	9.3
減価償却費	483,499	13.2	9.5	10.2
経費	745,625	20.4	22.7	28.2
(うち委託料)	498,869	13.6	12.6	13.6
研究研修費	4,824			
資産減耗費	12,767			
(2) 医業外費用	269,379			
(うち支払利息)	30,656	0.8	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	646,121			
純損益	646,121			
累積欠損金	375,466			
経常収支比率	113.9		101.9	99.9
医業収支比率	83.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	103.3		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,921,749
1 固定資産	7,647,254
(1) 有形固定資産	7,191,095
(2) 無形固定資産	4,585
(3) 投資その他の資産	451,574
2 流動資産	4,274,495
(1) 現金及び預金	3,366,204
(2) 未収金及び未収収益	863,709
(3) 貸倒引当金( )	2,202
(4) 貯蔵品	46,142
3 繰延資産	-
負債合計	9,626,081
1 固定負債	6,346,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,351,551
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	994,543
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,371,930
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	362,171
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,937
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,826
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,908,057
(1) 長期前受金	3,879,465
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,971,408
資本合計	2,295,668
1 資本金	2,362,732
2 剰余金	-67,064
(1) 資本剰余金	308,402
(2) 利益剰余金	-375,466
負債・資本合計	11,921,749
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,581	490,130
資本勘定繰入	153,721	209,315
計	513,302	699,445

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	西条市				
病院名	西条市立周桑病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,355 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	185	42.3	43.9	48.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	42.3	43.9	25.6
平均在院日数(一般病床のみ)		25.5	24.7	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	104,791	
決算規模(千円)	58,497,217	
標準財政規模(千円)	27,819,480	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	78.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	177,460			
1 経常収益	177,460			
(1) 医業収益	44,964			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	44,964			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	132,496			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	125,854			
(うち長期前受金戻入)	6,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	202,967			
2 経常費用	202,967			
(1) 医業費用	171,529			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	85,985	191.2	9.5	10.7
経費	83,974	186.8	22.7	29.2
(うち委託料)	15,249	33.9	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,570	-	-	-
(2) 医業外費用	31,438	-	-	-
(うち支払利息)	29,311	65.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-25,507			
純損益	-25,507			
累積欠損金	4,522,655			
経常収支比率	87.4		101.9	100.3
医業収支比率	26.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	94.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	371.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	94.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	5.0		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,610,028
1 固定資産	1,569,489
(1) 有形固定資産	1,565,224
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,265
2 流動資産	40,539
(1) 現金及び預金	36,457
(2) 未収金及び未収収益	4,082
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	880,473
1 固定負債	679,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	679,662
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	171,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,873
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	29,805
(1) 長期前受前受金	81,756
(2) 長期前受金収益化累計額( )	51,951
資本合計	729,555
1 資本金	2,714,973
2 剰余金	-1,985,418
(1) 資本金剰余金	2,537,237
(2) 利益剰余金	-4,522,655
負債・資本合計	1,610,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収益(千円)	3,579

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	60,924	167,239
資本勘定繰入	115,137	120,964
計	176,061	288,203

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10058.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	大洲市				
病院名	大洲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	10,813 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救感へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	142	53.9	56.4	58.4
療養	-	-	-	-
結核	8	1.7	0.4	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	51.1	53.4	55.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	11.5	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	40,575	
決算規模(千円)	32,854,088	
標準財政規模(千円)	14,981,786	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	41.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.9
修正医業収益(千円)	2,568,452

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,300,181			
1 経常収益	3,300,181			
(1) 医業収益	2,616,331			
入院収益	1,392,292			
外来収益	1,127,377			
診療収入計	2,519,669			
その他医業収益	96,662			
(うち他会計負担金)	47,879			
(2) 医業外収益	683,850			
(うち国・都道府県補助金)	159,170			
(うち他会計補助・負担金)	353,061			
(うち長期前受金戻入)	145,571			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,194,177			
2 経常費用	3,184,041			
(1) 医業費用	3,025,379			
職員給与費	1,693,492	64.7	62.1	67.4
材料費	632,473	24.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	242,341	9.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	368,992	14.1	11.4	8.8
減価償却費	261,596	10.0	9.5	10.7
経費	431,075	16.5	22.7	29.2
(うち委託料)	270,646	10.3	12.6	13.9
研究研修費	3,432			
資産減耗費	3,311			
(2) 医業外費用	158,662			
(うち支払利息)	47,025	1.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	10,136			
損益				
経常損益	116,140			
純損益	106,004			
累積欠損金	155,419			
経常収支比率	103.6		101.9	100.3
医業収支比率	86.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	91.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,639,253
1 固定資産	4,214,104
(1) 有形固定資産	4,212,858
(2) 無形固定資産	1,246
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,425,149
(1) 現金及び預金	588,979
(2) 未収金及び未収収益	782,653
(3) 貸倒引当金( )	8,869
(4) 貯蔵品	60,381
3 繰延資産	-
負債合計	3,916,942
1 固定負債	2,308,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,277,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,030,368
(7) リース債務	-
2 流動負債	737,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	456,352
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,428
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	177,312
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	871,625
(1) 長期前受金	3,203,553
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,331,928
資本合計	1,722,311
1 資本金	1,274,267
2 剰余金	448,044
(1) 資本金剰余金	603,463
(2) 利益剰余金	-155,419
負債・資本合計	5,639,253
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	400,940	400,940
資本勘定繰入	249,577	249,577
計	650,517	650,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	西予市				
病院名	市立西予市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,772 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救感へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	102	66.4	71.6	74.8
療養	50	31.8	52.6	50.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	10.1	-	-
計	154	54.4	64.5	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	16.6	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	35,388	
決算規模(千円)	35,629,173	
標準財政規模(千円)	15,662,962	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	72.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,463,860			
1 経常収益	2,445,587			
(1) 医業収益	1,797,850			
入院収益	1,132,083			
外来収益	573,933			
診療収入計	1,706,016			
その他医業収益	91,834			
(うち他会計負担金)	38,978			
(2) 医業外収益	647,737			
(うち国・都道府県補助金)	117,590			
(うち他会計補助・負担金)	311,509			
(うち長期前受金戻入)	168,017			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,273			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,504,859			
2 経常費用	2,503,049			
(1) 医業費用	2,328,136			
職員給与費	1,259,102	70.0	62.1	67.4
材料費	347,425	19.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	141,958	7.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	179,729	10.0	11.4	8.8
減価償却費	293,298	16.3	9.5	10.7
経費	406,281	22.6	22.7	29.2
(うち委託料)	153,757	8.6	12.6	13.9
研究研修費	2,594			
資産減耗費	19,436			
(2) 医業外費用	174,913			
(うち支払利息)	37,807	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,810			
損益				
経常損益	-57,462			
純損益	-40,999			
累積欠損金	1,096,466			
経常収支比率	97.7		101.9	100.3
医業収支比率	77.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.7		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,115,690
1 固定資産	6,789,738
(1) 有形固定資産	6,125,357
(2) 無形固定資産	367,662
(3) 投資その他の資産	296,719
2 流動資産	2,325,952
(1) 現金及び預金	1,556,662
(2) 未収金及び未収収益	765,817
(3) 貸倒引当金( )	15,283
(4) 貯蔵品	16,257
3 繰延資産	-
負債合計	6,454,919
1 固定負債	5,061,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,022,217
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	39,773
(7) リース債務	-
2 流動負債	738,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	366,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	141,771
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	226,661
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	654,120
(1) 長期前受金	2,142,154
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,488,034
資本合計	2,660,771
1 資本金	2,629,877
2 剰余金	30,894
(1) 資本金剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-446,313
負債・資本合計	9,115,690
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収益(千円)	1,758,872

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,306	350,487
資本勘定繰入	124,618	128,018
計	451,924	478,505

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			愛媛県
市町村・組合名	西予市		
病院名	市立野村病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,782 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	88	77.7	79.9	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	77.7	79.9	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	17.1	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	35,388	
決算規模(千円)	35,629,173	
標準財政規模(千円)	15,662,962	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	72.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.5
修正医業収益(千円)	1,203,727

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,589,241			
1 経常収益	1,580,437			
(1) 医業収益	1,240,588			
入院収益	800,299			
外来収益	368,800			
診療収入計	1,169,099			
その他医業収益	71,489			
(うち他会計負担金)	36,861			
(2) 医業外収益	339,849			
(うち国・都道府県補助金)	17,672			
(うち他会計補助・負担金)	261,317			
(うち長期前受金戻入)	34,870			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,804			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,630,376			
2 経常費用	1,627,306			
(1) 医業費用	1,572,514			
職員給与費	899,856	72.5	62.1	78.9
材料費	192,917	15.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	110,618	8.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,968	5.1	11.4	6.0
減価償却費	137,545	11.1	9.5	11.7
経費	317,155	25.6	22.7	31.2
(うち委託料)	64,422	5.2	12.6	14.3
研究研修費	1,298			
資産減耗費	23,743			
(2) 医業外費用	54,792			
(うち支払利息)	13,146	1.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,070			
損益				
経常損益	-46,869			
純損益	-41,135			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.1		101.9	100.3
医業収支比率	78.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,115,690
1 固定資産	6,789,738
(1) 有形固定資産	6,125,357
(2) 無形固定資産	367,662
(3) 投資その他の資産	296,719
2 流動資産	2,325,952
(1) 現金及び預金	1,556,662
(2) 未収金及び未収収益	765,817
(3) 貸倒引当金( )	15,283
(4) 貯蔵品	16,257
3 繰延資産	-
負債合計	6,454,919
1 固定負債	5,061,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,022,217
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	39,773
(7) リース債務	-
2 流動負債	738,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	366,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	141,771
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	226,661
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	654,120
(1) 長期前受金	2,142,154
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,488,034
資本合計	2,660,771
1 資本金	2,629,877
2 剰余金	30,894
(1) 資本金剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-446,313
負債・資本合計	9,115,690
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,913	298,178
資本勘定繰入	87,210	87,210
計	376,123	385,388

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛媛県	
市町村・組合名	久万高原町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,667 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	47	78.7	83.8	76.1
療養	30	87.4	90.8	83.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	82.1	86.5	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	20.0	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,404	
決算規模(千円)	10,155,364	
標準財政規模(千円)	5,774,801	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	714,702

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	989,963			
1 経常収益	983,813			
(1) 医業収益	754,390			
入院収益	522,748			
外来収益	157,934			
診療収入計	680,682			
その他医業収益	73,708			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	229,423			
(うち国・都道府県補助金)	35,655			
(うち他会計補助・負担金)	138,650			
(うち長期前受金戻入)	35,240			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,150			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	984,974			
2 経常費用	978,824			
(1) 医業費用	951,252			
職員給与費	665,934	88.3	62.1	78.9
材料費	76,381	10.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	33,002	4.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,995	4.0	11.4	6.0
減価償却費	61,959	8.2	9.5	11.7
経費	144,997	19.2	22.7	31.2
(うち委託料)	87,400	11.6	12.6	14.3
研究研修費	932			
資産減耗費	1,049			
(2) 医業外費用	27,572			
(うち支払利息)	717	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,150			
損益				
経常損益	4,989			
純損益	4,989			
累積欠損金	64,974			
経常収支比率	100.5		101.9	100.3
医業収支比率	79.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	82.3		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,330,414
1 固定資産	632,625
(1) 有形固定資産	632,151
(2) 無形固定資産	474
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	697,789
(1) 現金及び預金	535,103
(2) 未収金及び未収収益	152,666
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	10,020
3 繰延資産	-
負債合計	379,232
1 固定負債	225,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	118,896
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	106,968
(7) リース債務	-
2 流動負債	84,757
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,864
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,676
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,421
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	68,611
(1) 長期前受金	267,293
(2) 長期前受金収益化累計額( )	198,682
資本合計	951,182
1 資本金	1,016,156
2 剰余金	-64,974
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-64,974
負債・資本合計	1,330,414
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	174,948	178,338
資本勘定繰入	32,661	39,146
計	207,609	217,484

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	鬼北町				
病院名	北宇和病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,963 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	80.4	55.6	52.0
療養	45	-	38.9	51.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	44.2	48.1	51.7
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	21.0	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	9,682	
決算規模(千円)	9,204,255	
標準財政規模(千円)	4,710,653	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	973,097			
1 経常収益	943,273			
(1) 医業収益	611,199			
入院収益	367,529			
外来収益	223,626			
診療収入計	591,155			
その他医業収益	20,044			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	332,074			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	243,451			
(うち長期前受金戻入)	85,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,824			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	920,365			
2 経常費用	912,308			
(1) 医業費用	907,203			
職員給与費	91,485	15.0	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	89,854	14.7	9.5	10.7
経費	725,778	118.7	22.7	29.2
(うち委託料)	718,912	117.6	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	86	-	-	-
(2) 医業外費用	5,105	-	-	-
(うち支払利息)	1,366	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	8,057	-	-	-
損益				
経常損益	30,965			
純損益	52,732			
累積欠損金	323,640			
経常収支比率	103.4		101.9	100.3
医業収支比率	67.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	39.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	25.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	76.7		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,514,914
1 固定資産	1,349,200
(1) 有形固定資産	1,348,738
(2) 無形固定資産	462
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	165,714
(1) 現金及び預金	58,539
(2) 未収金及び未収収益	107,570
(3) 貸倒引当金( )	395
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,049,205
1 固定負債	110,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	36,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,313
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,178
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,885
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	902,443
(1) 長期前受金	2,277,878
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,375,435
資本合計	465,709
1 資本金	-
2 剰余金	465,709
(1) 資本金剰余金	789,349
(2) 利益剰余金	-323,640
負債・資本合計	1,514,914
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.4
修正医業収益(千円)	611,199

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	235,510	243,451
資本勘定繰入	5,628	5,628
計	241,138	249,079

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名	愛南町				
病院名	愛南町国保一本松病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,752 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	60	77.9	83.5	82.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	77.9	83.5	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	19,601	
決算規模(千円)	17,374,844	
標準財政規模(千円)	9,560,372	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.5
修正医業収益(千円)	386,576

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	667,296			
1 経常収益	663,462			
(1) 医業収益	387,353			
入院収益	266,602			
外来収益	103,765			
診療収入計	370,367			
その他医業収益	16,986			
(うち他会計負担金)	777			
(2) 医業外収益	276,109			
(うち国・都道府県補助金)	9,500			
(うち他会計補助・負担金)	240,972			
(うち長期前受金戻入)	7,883			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,834			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	655,255			
2 経常費用	648,577			
(1) 医業費用	628,780			
職員給与費	393,646	101.6	62.1	78.9
材料費	61,956	16.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	34,501	8.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,472	4.5	11.4	6.0
減価償却費	59,157	15.3	9.5	11.7
経費	113,350	29.3	22.7	31.2
(うち委託料)	45,129	11.7	12.6	14.3
研究研修費	130			
資産減耗費	541			
(2) 医業外費用	19,797			
(うち支払利息)	158	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,678			
損益				
経常損益	14,885			
純損益	12,041			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		101.9	100.3
医業収支比率	61.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	36.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	62.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	36.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	65.0		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	909,771
1 固定資産	598,566
(1) 有形固定資産	593,937
(2) 無形固定資産	4,629
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	311,205
(1) 現金及び預金	243,564
(2) 未収金及び未収収益	62,441
(3) 貸倒引当金( )	442
(4) 貯蔵品	5,642
3 繰延資産	-
負債合計	221,528
1 固定負債	34,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	34,083
2 流動負債	64,642
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,834
(6) リース債務	14,629
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,065
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	122,803
(1) 長期前受金	351,369
(2) 長期前受金収益化累計額( )	228,566
資本合計	688,243
1 資本金	631,288
2 剰余金	56,955
(1) 資本金剰余金	12,363
(2) 利益剰余金	44,592
負債・資本合計	909,771
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	229,707	241,749
資本勘定繰入	11,445	9,276
計	241,152	251,025

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。